わっかない市議会だより

平成11年11月1日
第89号

日口の架け橋
定期航路の定着に期待！

発行　稚内市議会
編集　編集委員会
電話　23-6161番（代表）
内線 281

九月定例会
一般質問から

各会派を代表して6人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

市政クラブ　菅原清治議員

海洋深層水の調査研究について

質問　ここ数年、水深200メートル以上の深層水の調査研究、そして実用化への取り組みは著しく、水産・医療などの各分野で研究が進んでいる。水産では、ヒラメなどの栽培漁業への応用が期待されているほか、アトピー性皮膚炎治療の効果が医学的に証明されている状況にあるので、この深層水の利用の可能性を含め宗谷近海の海洋調査を利礼三町とともに、科学技術庁へ要請すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁　海洋深層水は、豊富な栄養分を含み細菌や化学物質による汚染もなく、その研究が進められている。道内においても、後志・檜山管内の日本海沿岸に取水適地が多く、本年度、道立中央水産試験場などの研究機関が中心となって、水質分析等を行ない水産物の衛生管理や栽培漁業などへの活用や効果について検討することになっている。来年度に調査報告書が出される予定なので参考にしながら、地元水産試験場等と利用の可能性について協議をし国や道への要請を考えていく。

酪農を取り巻く問題について

質問　❶近年、地球規模での自然環境の破壊が憂慮され、家畜の排せつ物の管理に関する法律が制定されたが、ふん尿処理施設は多額な費用を要することから補助の拡大なども必要と考えるが。❷担い手育成事業を推進していくうえで、新規就農の支援や夢のある新しい生活を求める若者に希望を持たせる農業担い手育成センターの建設が必要と考えるが。これらについて、市長の見解を伺う。

改善が望まれる家畜ふん尿処理

答弁　❶当市を含め北海道の畜産農家は規模が大きいため、農家負担の少ない補助事業を活用して施設整備をしてるが、全戸が同等に整備できる状況でないため、今後は広域処理方式も視野に入れどうあるべきか農協・農家とともに協議していく。❷農業の担い手育成・確保のために、実習での技術習得と地域での交流が重要と判断しており、実習生の宿泊交流施設についても検討する必要があると考えている。施設の管理方法や農業振興のためにどんな機能を持つべきかの協議が必要なので検討の時間を頂きたい。

その他の質問事項

- 風力発電
- ワーキンググループの活性化
- 高齢社会への対応
  - (1)特別養護老人ホーム
  - (2)ケアハウス
- 教育の諸問題
  - (1)学校教育
  - (2)図書館の建設

市民クラブ　藤谷良幸議員

行政改革について

質問　❶行政改革の理念と不十分な取り組みを反省し、横田市長の方針に基づいた判断による重要課題を一日も早く市民に示すべきでは。❷行政改革推進本部会議の決定事項を再度原課に示し、再検討させる考えは。❸使用料・手数料の見直しは実施時期を明確に指示し、同時にスタートさせるのが最善策と考えるが。❹施設管理の効率化のため、委託可能施設の検討状況と委託に対する条件整備の現況は。❺特別養護老人ホーム富士見園を稚内市社会福祉事業団に委託する考えは。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁　❶徹底的な組織論議を行い、組織全体が共通認識に立ち、市民の役に立つ市役所づくりを目指すことを基本とし、これまでの方針を継続する。❷本部会議の議論を重ねて決定したものである。今後も組織論議を十分に行い進めていく。❸広報誌等を通じ市民に対し基本方針案やコスト計算資料の公表を行うが、料金基礎額の計算方法の確立、使用料・手数料改定検討委員会や所管との内部協議等現段階では実施時期の明確化は極めて困難であり、料金改定の一斉実施についても市民負担の増大、料金改定サイクルの不統一による施設間の負担格差の拡大等で難しく、今後一定の時間をかけて慎重に検討する。❹具体的な検討作業や絞込み作業は各所管課を中心に実施し受託先の条件整備等も並行して検討する。❺稚内市社会福祉事業団は市が設置する各種社会福祉施設を効果的に受託経営するため設立され、将来的に特別養護老人ホーム富士見園の運営についても委ねる方針とされており、他の福祉施設や福祉サービスとの連携や一体的サービスを市民に提供できると判断し、介護保険制度のスタートに合わせて取り進めている。

稚内市奨学資金等貸付条例について

質問　北星短大の4年制への改組転換を目前にし適合しない現在の奨学金等貸付条例の改正について、何時の時点で見直し提案するのか、市長の見解を伺う。

学生確保が重要な(仮)稚内北星学園大学

答　弁　昨年来より改正について、関係部署並びに教育委員会と検討し、給付制度の新設、貸付金額の増額、対象者の拡大等を図り今後、教育委員会内部等の所要手続きを経て本年12月議会への提案を考えている。

その他の質問事項

- 風力発電建設
- 水産試験場跡地利用
- 幌延町の深地層試験研究所計画

民主クラブ　松本勝利議員

教育問題について

質　問　❶北海道教育庁から示された公立高等学校適正計画に対する見解と関係機関及び宗谷教育局との連絡調整は。❷通学路及び周辺の街灯に関しては概ね整備されているが、道路幅員等によっては明るさに問題があり、危険防止と非行防止の観点から現況を把握し年次的に改善を図るべきと考えるが。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶北海道教育庁は高校の収容定員調整について、その地域の中学校卒業者動向及び私学を含めた各学校の在籍状況、地域の意見や論議を十分に踏まえて策定するとしているが、現状を維持するのは極めて困難な情勢である。しかしながら、関係者の間に強い不満や不安があることから関係者とともに強く訴えながら特例処置を要望し、高校教育のあり方を私学も含めて幅広く市民の意見を聞き、市としての考えをまとめる。❷道路照明灯及び町内会設置の防犯灯が主なものであり、設置年数がかなり経過しているものなど照明の機能を十分に発揮していないものもあるため、明るく安全な環境を作り上げるよう、早急に調査し関係部署と協議のうえ改善する。

福祉問題について

質　問　高齢者健康増進事業推進のひとつの方法であるバスの無料化は、高齢社会において有効な事業と認識している。しかし、年齢を重ねるにしたがって高齢者の身体機能の低下はいなめないことから、低床化車両の導入を取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。

期待される福祉事業の充実

答　弁　高齢者の社会参加による健康増進のためにも、路線バスの低床化はバス利用が一層促進され必要な事であり、冬期間の除雪等の問題を含め諸条件を整備した中で、可能であれば、宗谷バスの車両更新時に導入するよう働きかけていきたい。

その他の質問事項

- 教育問題
  - (1)へき地教育振興に係わるへき地手当の見直し
  - (2)学校教育の荒廃
- 子育て支援
- 環境基本条例の制定と水道水源保全条例の制定
- ゴミ問題
- 防災危機管理

公明党　鈴木茂行議員

行財政改革について

質　問　本市の行政改革は平成9年4月から3ヶ年計画で実施され、残す期間はあと半年となっているが、❶経常収支比率の上昇をうけ、支出の大きなウエイトを占めている人件費・公債費等の抑制計画は。❷使用料・手数料の見直しに際し、施設の管理費・人件費の算出方法や少子高齢化に対応した受益者負担率の設定等、また、景気の低迷等も考慮し慎重に行うべきでは。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶現在の財政状況は、人件費・公債費・扶助費などの義務的経費が歳出の大きなウエイトを占めており、経常経費率が85%に近づいていることは認識している。したがって、組織機構の見直しや事務・事業の効率化の促進等により徹底した義務的経費の節減を図り、財政の健全化に努めていく。❷基本方針としては、これまで各所管で独自に設定してきた使用料設定の基準等を受益者負担の適性化・市民負担公平化の原則に基づき、統一的な視点から見直しを行うものであり、今後は、広報誌等で市民に基本方針案や施設のコスト計算資料の公表を行いながら、市民や使用料・手数料検討委員会等とも十分協議し見直しを進めていく。

地域振興券について

質　問　政府は、即効性のある景気対策の一環として地域振興券交付事業を行い、全国の三千二百五十五市町村において完了したが、❶本市の地域振興券による経済効果は把握しているか。❷今後、商店街や商工会議所等から商品券発行の要請があった場合、今回の経験を生かし何らかの経済活性化策を行う考えはあるか。これらについて、市長の見解を伺う。

望まれる新たな地域振興策

答　弁　❶地域振興券の交付件数は一万千四百二十件、金額にして二億二千八百四十万円となり、本市においても高い経済効果があったものと認識している。しかし、換金期間が本年11月末までの為、まだ計数的分析にはいたっていない。❷今後の支援策については、具体的な提言や要請があった時点で協議・検討していく。

その他の質問事項

- サハリンとの貿易における治安維持
- 稚内観光協会
- チャイルドシートの着用義務化への対応
- 坂道のロードヒーティング
- 教育問題

日本共産党 斉藤信義議員

介護保険制度について

質問 ❶老齢福祉年金「年額41万2千円」を下回る額の国民年金受給者数は何人と想定しているか。また、低所得者の保険料等を減免する考えは。❷国民健康保険税の滞納世帯数は。❸高額介護サービス利用料支払いのため、無利子貸付制度を創設する考えは。❹老人保健施設入所者の日用品は施設側で用意、又は入所者で用意するかを選択できるようにするべきでは。❺現在、福祉サービスを受けているが、要介護認定の結果、自立と判断された人への市独自のサービス提供の考えは。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶年額41万2千円未満の年金受給者は約千四百人と想定している。また、低所得者の減免については、介護保険法の法定要件の範囲内で実施していく。❷平成10年度の滞納世帯数は1千14件となっている。❸介護保険の保健福祉事業として、高額介護サービス費相当分の貸付等について検討していく。❹施設での日常生活に要する費用で、入所者に負担させることが適当と認められるものについては徴収する事ができる。そのため日用品の任意・選択については各施設が独自に決定することであると考えている。❺要介護認定で自立と判断された人についても一定の基準のもとで市独自のサービスを提供する考えである。

少子化対策交付金について

質問 少子化対策交付金の目的は、市町村が保育所待機児童の解消をはじめとする地域に応じた少子化対策を実施し、雇用・就業機会の創出に資することとなっている。先の第3回定例会の市長答弁で来年度から北保育所において0歳児保育を実施する考えが示されたが、地域的に遠く、むしろ白樺保育所か港保育所の入所を増員してほしいとの要望が強い。したがって、この交付金を活用して、港保育所を改修し0歳児保育を開始すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

望まれる港保育所の0歳児保育

答弁 9月1日現在、白樺保育所で0歳児14名・1歳児15名の合計29名と、北保育所で1歳児10名を保育しているが、乳幼児保育の希望者が多いことから北保育所で0歳児保育を実施する。今後、少子化対策臨時特別交付金を生かし、港保育所においても乳幼児保育が可能になるよう検討していく。

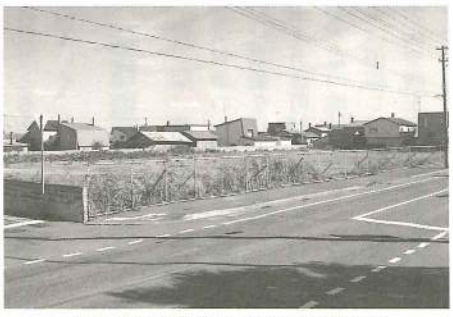
その他の質問事項

- 日の丸・君が代（市の行事と教育に関して）
- 幌延町の深地層試験研究所
- 雇用問題
  - (1)地域雇用交付金
  - 水族館の改修
  - 国立稚内病院の結核病床の復活

政友会 岡本雄輔議員

旧水産試験場跡地の利用について

質問 宝来地区の旧水産試験場跡地は既に土地開発基金で取得済みであり、その利用目的として道々利礼通り拡幅工事に係わる移転補償の代替地として予定していた。しかし、移転希望者がいない現実を踏まえ早急に有効利用を考える必要性があるが、❶旧水試跡地利用の基本的な考え方は。❷既存の町内会館・コミュニティー施設に福祉機能、子育て支援機能、放課後の児童対策事業等を加えた総合施設「地区ゆめあいセンター」の建設計画とその時期は。これらについて、市長の見解を伺う。



有効利用が期待される旧水試跡地

答弁 ❶旧水産試験場跡地は道々利礼通り拡幅工事の移転代替用地を主要な目的として取得したが、従来より宝来文教ゾーンの一画として位置づけされていることも認識している。今後、都市計画マスタープランを策定する段階で状況により、文教ゾーンとしての整備方策を地域別構想に反映させていきたい。❷現在の既存のコミュニティー施設の機能は十分とは考えていない。したがって、人と人との絆を生かした地区ゆめあいセンターの建設を検討していく。

観光資源の整備と開発について

質問 本市の観光産業は利尻・礼文・サロベツ国立公園の拠点都市として一定の評価を受けている。また、北海道のイメージは雄大な自然であり、観光開発といえども無計画な自然破壊があってはならないが、ちょっとしたアイデアで新たな観光スポットも創出できると考えるが、❶現在の水族館は規模も小さく資料館程度の施設であることから、全国にない大規模な水族館も必要と考えるが。❷体験型観光などの新しい観光資源の開発は考えているか。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶水族館は昭和43年に開館以来、市民や観光客に親しまれてきたが、施設の老朽化が著しく、展示物の内容も時代のニーズにあっていないことも承知しており、抜本的な再構築が必要と考えている。しかし、大規模な水族館を建設するには多額な財源を必要とするところから、現在のところ困難であると考えている。❷観光のニーズが見る観光から心に感じる観光、体で感じる観光へと変化してきていることから、今後は地域の産業資源や文化資源を活用した体験型観光等を開発し、これらのニーズに対応していかなければならないと考えている。

その他の質問事項

- ペット霊園の建設
- 観光資源の開発
  - (1)竜神沼 (2)ウロンナイの滝
  - (3)福沢農場
  - (4)ホスピタリティー精神
- 友好都市交流
- 介護保険

議案特別委員会から

議案特別委員会では、各会計補正予算等の審査を行いました。主な質問要旨を紹介します。

●元樺太関係者が墓参等でサハリン定期航路を利用したのは何名くらいか。また、このような目的で利用する人に助成する考えは。
●各町内会の要望等に対応する場合は担当課から事前に時期等を連絡すべきでないか。
●はばたけてっぺんドリーム21の事業主体やその内容は。また、補助金はJCの活動に対するものか事業に対するものなのか。
●大規模な災害に備えて日常の訓練や関係機関との連絡体制・防災無線体制充実の取り組み状況は。
●地方分権・情報公開・個人情報保護に関する取り組み状況は。
●介護保険の導入に伴って特別養護老人ホームの運営をなぜ委託しなければならないのか。
●市民サービス向上のために委託するなら早くに方針を示し議会や市民の理解を得るべきでないか。
●介護保険ホームヘルプサービスの24時間体制は万全になるか。
●介護保険に伴う施設入所者の日用品を施設で提供するか本人が用意するかの選択肢に対する見解は。
●特別養護老人ホームを増設する考えはないか。
●介護認定の審査に当たり審査委員の見解に相違があると思うが対処するためにどんな基準で臨むか。
●介護保険に向けてケアマネージャー等の増員の考えは。
●介護保険申請時に提出する主治医の意見書記載手数料が増額になった理由は。
●緑・富岡環状線のロードヒーティングは歩道も必要でないか。
●ロードヒーティングの維持費等の面から融雪剤による除雪対策を試験的に実施する考えはないか。
●市営住宅の建設位置は入居者のニーズやまちづくりを考えるべきと思うが建て替えの場合は他の場所に建築することは不可能か。
●国旗・国歌に対する現場での対応はどうなっているか。
●道路災害復旧調査業務を委託するがその内容は。
●浄水場用風力発電の電力を他の公共施設に利用する考えはあるか。
●防災会議委員になる自衛官の所属する名称を条例に明記するべきでないか。
●防災会議委員に指定公共機関・指定地方行政機関とあるがどのような機関なのか。また、指定公共機関の委員だけに任期を定めているのはなぜか。

採択された請願・陳情及び要望意見書

「へき地学校等の級別指定基準の改正」に関する請願及び要望意見書

本市においては「へき地教育振興法」に基づき給食事業の実施・修学旅行費・教職員住宅の建築等の補助が国・道から保障され、教育予算の重要な財源となっている。しかし今回のへき地基準の見直しでは、重要な教育条件整備の変更を伴い、改悪を心配する声も強いことから、基準の改正にあたっては、文部省及び関係する行政機関が教育委員会等の要望を十分把握し、より良い見直しと級地指定が行われるよう強く要望する。

学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担存続及び、義務教育費国庫負担法の存続を求める請願及び要望意見書

政府は85年より義務教育費国庫負担法から、教職員の旅費と教材費及び恩給費、共済費の追加費用の適用除外を行い、地方自治体への負担を転嫁してきた。さらに事務職員と栄養職員の給与費の国庫負担分も地方へ転嫁する意向を示し、各自治体からの抵抗を受けて断念している。教育には、機会の均等と水準の維持が必須であることから、国の施策として存続することを強く求める。

青少年健全育成の法律制定を求める意見書提出に関する陳情

今日の青少年を取り巻く社会環境は、露骨な性描写を売り物にした雑誌・ビデオなどの氾濫、更には情報通信の進展とともにテレホンクラブ等の新しい営業形態が出現するなど、悪化の一途を辿っている。青少年を有害環境から保護するという観点に立つ法令は、風俗営業等適性化法や児童福祉法のように関連規定はあるが、網羅的、体系的にはなっておらず条例の補足的な機能しか有していないため、国おいて青少年の健全育成に関する法律を制定するよう強く求める。

「道路特定財源等に関する意見書」の提出について

自動車交通への依存度が高い北海道における道路整備は未だ十分とはいえず、今後、道路整備五ヶ年計画に基づき、活力ある地域づくり、まちづくりを支援し、経済・社会活動の活性化、安全で安心できる国土の実現を図るために、道路網の整備はより一層促進することが重要である。ついては、受益者負担、原因者負担の考え方に基づく道路特定財源を堅持するとともに、地方道路整備財源の充実強化を強く求める。

永年勤続表彰

全国及び全道市議会議長会において毎年永年表彰を行っておりますが、稚内市議会でも現職議員1名が表彰されましたので、定例会初日にその伝達式を行いました。

今回表彰された議員は、次のとおりです。

全国市議会議長会
20年表彰　魚住光信　議員

子供に安全！親に安心！チャイルドシート

本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	出席すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	区分／議員名	出席すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	9	9		館農　恒一	16	16	
岡本　雄輔	11	11		中井淳之助	17	17	
小林侃四郎	9	8	（公１）	藤谷　良幸	10	10	
田森　和文	17	16	（私１）	山田　繁春	10	10	
前田　修悦	18	16	（私２）	生田目幸男	15	15	
河合　慎一	12	12		長谷川喜市	12	11	（私１）
河野　至緒	9	9		松本　勝利	10	10	
小林美和子	12	11	（私１）	斉藤　信義	10	8	（私1、公１）
菅原　清治	9	9		三谷　典子	17	16	（私１）
竹村　海一	10	10		魚住　光信	16	16	
三宮　正人	16	16		東方　豊松	16	15	（私１）
越後谷亮一	14	13	（私１）				
鈴木　茂行	12	12					

注：(1)出席すべき日数は、８月１日から10月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中（公）は公用、（私）は私用、（病）は病気の意味。

議会日誌

8月

2・岩見沢市議会議員来局
4・佐久市議会議員来局
6・議員研修会（旭川市）
10・**介護保険制度準備特別委員会**・代表者会議・寒河江市議会議員来局
12・**建設産業常任委員会**・茨木市議会・北条市議会議員来局
16・**総務常任委員会**
17・福山市議会議員来局
19・久留米市議会議員来局
20・代表者会議・東村山市議会議員来局
23・鎌倉市議会・姫路市議会・清州町議会議員来局
24・標茶町議会・海老名市議会議員来局
25・金沢市議会議員来局
26・行田市議会議員来局
27・神奈川県内広域水道事業団来局
31・稚内・コルサコフ定期航路利用推進合同会議

9月

1・飯塚市議会議員来局
2・**議会運営委員会**・**介護保険制度準備特別委員会**・代表者会議
7・**第５回定例会（本会議）**
8・議員会役員会
13・**議会運営委員会**・**本会議（一般質問）**
14・**議会運営委員会**・**本会議（一般質問）**・図書室運営委員会
16・**本会議**・議案特別委員会・**議会運営委員会**・**総務常任委員会**
17・**本会議**・議案特別委員会・**建設産業常任委員会**・議会だより編集委員会
20・**本会議**・**議会運営委員会**・決算特別委員会・正副委員長会議
28・下妻市議会・八女市議会議員来局

10月

1・山田市議会議員来局
12・**サハリン調査特別委員会**・代表者会議
13・盛岡市議会・西頸城郡町村議長会来局
19・白石市議会議員来局
26・全国民間空港所在都市議会協議会臨時総会（福江市）
27・新居浜市議会・砺波市議会議員来局
28・**第６回臨時議会**・黒磯市議会議員来局

12月定例会の日程

11月29日　◇本会議
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
◇決算特別委員会
11月30日～12月１日◇休会
２日～３日◇本会議（ナイター議会）
・一般質問
４日～５日◇休会
６日～７日◇議案特別委員会
８日～９日◇決算特別委員会
10日◇本会議

本会議は５階議場で、各特別委員会は５階正庁の間で開きます。

ナイター議会は18時開会です。

編集後記

稚内の例年にない暑さを迎えた短い夏が過ぎ、さわやかな秋風が吹く比較的過ごしやすい季節での９月議会の開催でありました。議会のようすを判りやすく紹介するため、より多くの質問・答弁を掲載するよう努力をしておりますが、制約された紙面の中ではむずかしいものがあります。今後も充実した紙面づくりに向けて頑張ってまいります。

市民の皆様の御意見をお寄せください。

議会だより編集委員会

委員長　中井淳之助
副委員長　松本勝利
委員　田森和文
〃　小林美和子
〃　鈴木茂行
〃　三谷典子
〃　魚住光信
〃　東方豊松

議会を傍聴しませんか

☆手続きは簡単です☆

◆お問い合せは
議会事務局
（☎23－6161・内線281）まで